

『神様からのプレゼント』

幸福の象徴として世界中で愛されている

四つ葉のクローバー。

その4枚の葉には「希望・信仰・愛情・幸福」という意味が込められています、

通常3枚のクローバーの葉が4枚になるのは、「人や動物に踏まれるから」だそうです。

踏まれた部分が「節」となって、成長する。

クローバーに限らず、植物には、

年毎に成長する場所が節として残っています。

人生を「道」に例えたとき、

辛いこと、苦しいこと、大変なことは、

道を遮る「節」として捉えることができます。

神様のお言葉に、

「ずつない事はふし、ふしから芽を吹く。やれふしや、楽しみやと、大きな心を持ってくれ。」

「ずつない」とは、「術すべがない」との意味いみ。

自分じぶんではどうすることもできないことは節ふしであり、

節ふし＝成長点せいちょうてんと思おもって楽たのしんでくれ、と教おしえられます。

傷きずや痛いたみによよって幸こう福ふくの1枚まいが増ふえ、

四よつ葉はのクローバーが生うまれるのであれば、

自分じぶんの身みの回まわりに起おこる辛つらいことや大たい変へんなことは、

幸しあわせを感じかんじるサインであり、

大たい切せつなことに気き付づくための

神かみ様さまからのプレゼントなのかもしれません。

天理教教会本部ホームページ

<https://www.tenrikyo.or.jp/>

